

3Dシステムを活用した製品開発

令和7年度ものづくり研究会

瑞浪市窯業技術研究所では、3Dシステムを活用した製品開発や技術支援、CAD講座による人材育成を進めています。

「ものづくり研究会」では、愛知県立芸術大学 美術学部陶磁専攻の大学生らが市内企業を訪問し、工業製品としての陶磁器について素材や成形方法、製造工程などを調査し、CADデータによる製品開発を行いました。

瑞浪市内の企業を見学

- ◆ 研究会に参加した企業の製造工程を見学
- ◆ 動力成形、排泥鑄込み等それぞれの使用型について学び、“抜け勾配”や“マチ”などCADソフトで設計する際の注意点を確認



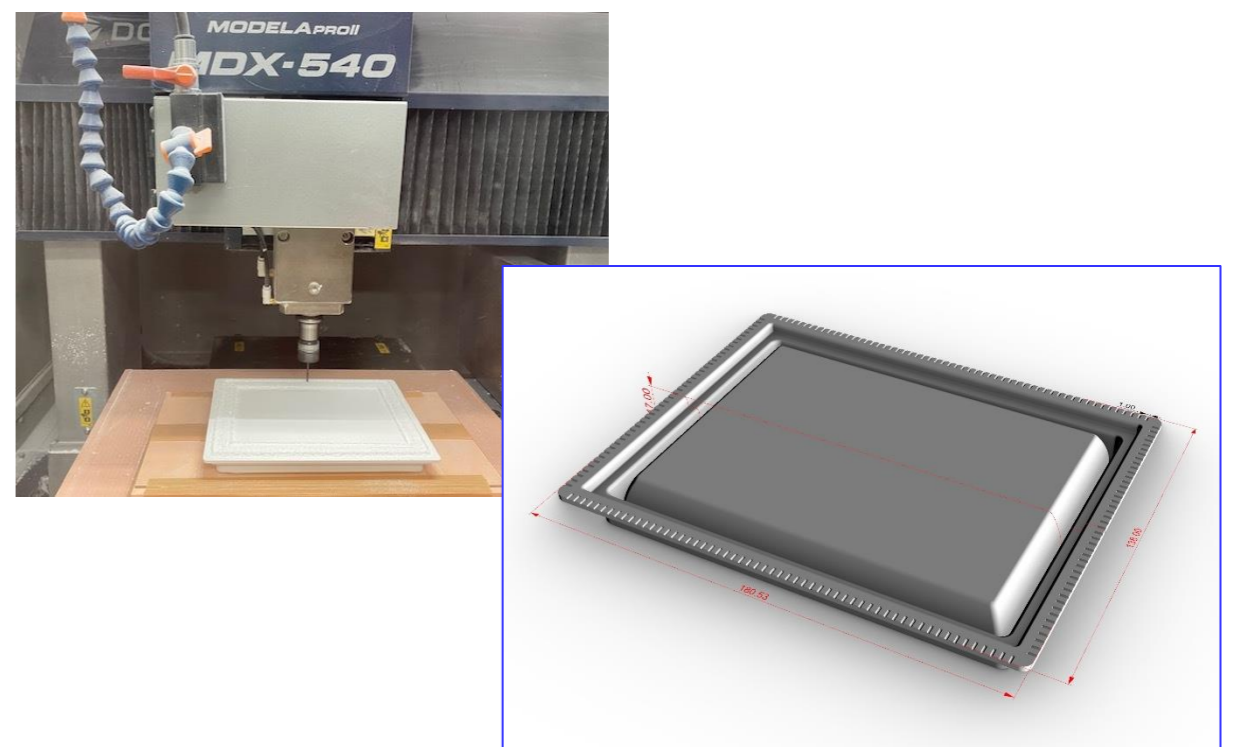
CADデータによるプレゼンテーション

- ◆ それぞれが設計したCADデータにより、コンセプトや機能について参加企業にプレゼンを行った
- ◆ 製造工程上、実際には成形が難しいものやサイズの確認などを行い、CADデータの見直しを行った



作成したCADデータを切削加工

- ◆ 完成したCADデータをもとに、窯業技術研究所の3D切削機で原型を切削
- ◆ 原型をもとに、鑄込み型等の石膏型を作成成形品を焼成して試作品を製作した



新春見本市で試作品の展示発表

- ◆ 「美濃焼新春見本市」で試作品の展示発表を行い、来場者への説明と意見や評価の聞き取りを行った



美濃焼新春見本市
会期 令和8年1月8～9日
場所 セラミックパーク MINO
瑞浪のメーカーを含む45社
が出展

